

令和4年度 学校運営連絡協議会実施報告書

1 組織

(1) 都立武蔵丘高等学校 学校運営連絡協議会（全日制課程）

(2) 事務局の構成

主幹教諭（教務主任兼務）＝事務局長、生活指導主任、進路指導主任、総務・保健部主任 計4名

(3) 内部委員の構成

校長、副校長、経営企画室長

主幹教諭5名（教務担当、生活指導主任、1学年主任、2学年主任、3学年主任）

主任教諭2名（進路指導主任、総務・保健部主任）

計10名

(4) 協議委員の構成（氏名の掲載も可）

元都立高等学校校長1名、PTA会長、同窓会会長、近隣小学校長2名、近隣中学校長1名、
地区青少年育成委員長、町会理事、中野ボランティアセンター代表 計9名

2 令和4年度学校運営連絡協議会の概要

(1) 学校運営連絡協議会の開催日時、出席者、内容、その他

第1回 令和4年6月10日（金）内部委員10名、協議委員9名

授業公開、協議委員委嘱、委員紹介、学校運営連絡協議会の主旨説明、元年度学校経営計画、
教育活動の現状と課題等説明、協議委員からの教育活動に対する意見、

第2回 令和4年11月25日（金）内部委員10名、協議委員8名

教育活動に関する報告、協議委員からの教育活動に対する意見、
学校評価アンケート評価項目の検討

第3回 令和5年2月17日（金）内部委員10名、協議委員9名

教育活動に関する報告、協議委員からの教育活動に対する意見、
学校評価アンケートの報告と課題に関する協議

(2) 評価委員会の開催日時、会場、出席者、内容、その他

第1回 令和4年11月25日（金）内部委員2名、協議委員3名

学校評価の基本方針の確認、

今年度の学校評価の観点・項目、内容の検討、実施時期の検討

第2回 令和5年2月17日（金）内部委員2名、協議委員3名

アンケート集計結果の分析・考察、課題の整理

3 学校運営連絡協議会による学校評価（学校評価報告）

(1) 学校評価の観点

①都民の期待や信頼に応え、家庭や地域と連携した学校運営について

②地域や関係諸機関など学校を支える方々や、生徒のニーズを反映した学校経営について

③いじめ防止対策や防災活動、コロナ対策等、生徒の安全に配慮した学校経営について

(2) 実施時期

令和4年12月～令和5年1月

(3) 主な評価項目

学校生活全体、学習活動、生活指導、進路指導、特別活動、施設・設備、コロナ感染防止対策など

(4) 評価者

教職員、生徒、保護者、地域住民

(5) 評価結果の概要及び分析・考察

評価アンケートの主な項目について生徒・保護者・教職員の三者間での比較を以下に示す。

(「1. そう思う」と「2. 少しはそう思う」を合計した%で比較)

	保護者	生徒	教職員
生徒は本校に入学してよかったと思っている	90%	87%	97%
補習・講習に関する質問	53%	67%	84%
予習・復習に関する質問	55%	55%	92%
本校は生徒に対して遅刻防止の指導を十分に行っている	69%	84%	82%
人間関係の良好さに関する質問	90%	89%	94%
本校ではいじめ防止に向けた対策が十分にとられている	32%	72%	90%
本校は生徒や保護者が必要とする進路情報を提供している	70%	87%	98%
本校は清掃がゆきとどいた学校である	69%	57%	73%
本校のホームページは充実している	57%	55%	79%
本校の図書館はよく整備され、活用しやすくなっている		72%	90%
本校の自習室はよく整備され、活用しやすくなっている		76%	100%
チャイム始業		81%	94%
生徒の質問や悩み事への対応		80%	91%
スクールカウンセラーについてのアナウンス	69%	60%	92%
塾に通っている(1年、2年、3年)		40%	
ワークライフバランスの実現に積極的に取り組んでいる	39%		58%

【地域対象のアンケート】

コロナ禍の中で学校の教育活動を実際に見たり、施設利用で来校されたりした方が多かった。

登校時や休日の部活動などで生徒の様子を観察して、学運協でご意見を頂戴できた。本校及び生徒に関する印象は比較的良く、コロナ禍でも工夫して運営できている点については良好な評価をいただいた。登下校に関するマナーに関しては、今年度は、普通のとの回答が多かった。地域連携がコロナで十分でなかったこと、ホームページの充実・改善は今後工夫を要する点である。

4 改善に向けた視点

- (1) 大学入試改革により、生徒の進路指導が明らかに変化している。早慶上理を目標に、成成明学独国武以上の大学への現役進学実績を伸ばし、中堅上位の進学校としての地位を確立するための。入試問題の分析、模試の分析結果の共有、学校及び家庭での自学自習時間の増加、隙間時間の学習につなげ、学力の向上を図る。
- (2) 入学時からの3年間を通したキャリア教育により、早い段階からの進路意識の定着と向上による学習効果と生徒の自己実現・自己発見に向けた指導方法の工夫・改善を図る。
- (3) 部活動の実績向上のための指導方法の工夫及び確立を図るとともに、オリンピック・パラリンピック教育により、体育・スポーツへの興味・関心を図る。また学校行事をより充実させ、生徒が主体的・意欲的に取り組むための工夫と改善をさらに図る。
- (4) 本校に興味・関心を持ってもらい、評価アンケート回収率の向上を図る。質問項目の精査を図る。
- (5) アンケート結果分析についてデータの集計、図表の作成などの工夫と教員へのフィードバックおよび校内での課題の共有と改善に向けた取り組みを図る。
- (6) 地域の要望に応え、課題を共有する姿勢を向上させ、さらに連携を推進するための体制構築を図る。
- (7) 教職員のライフ・ワークバランスの実現に取り組み、長時間勤務の是正に取り組む。

5 学校運営連絡協議会及び学校評価を活用した教育活動の改善事項

(1) 学校運営

教務部、進路指導部を核とした学校改革をより推進させ、発展させていくために、校内の課題発見能力を高めていく。そのためには5名の主幹教諭を育成し、主幹教諭を機能させた自律的改革への取組を推進

する。

(2) 学習指導

日頃からの自学自習の習慣化をはかる工夫を、学習支援コンテンツを活用しながら進める。夏期講習集中期間による効果を質・量ともに向上させる。特に講習設定講座の工夫を行う。自学自習の取り組みにつなげるため、授業時の指導の工夫・改善を図り、学力調査の事前及び事後の指導を充実させる。また、自習室の利用を増加させ、環境整備に努める。

予備校講師による講習を校内で実施し、生徒の学習意欲を高めるとともに、教員間の授業参観を内外ともに促し、授業力の更なる向上に努めさせる。大学生チューターによる学習会を拡大して実施し、英語検定受験者数、2級以上合格者数を更に増加させるために受検環境と指導環境を充実させ、英語検定試験受験の定着を図る。

(3) 生活指導

生活指導部と学年の連携による朝の登校指導及びホームルーム指導により、遅刻者数を減少させる。身だしなみや挨拶の指導も近隣からの評価があがり、大部分の生徒が落ち着いた学校生活を送れるようになってきている。更に自己管理能力を向上させる指導を行うとともに、生活指導部と学年団との連携による登校指導により、登下校時の安全・マナー指導の一層の充実を図り、登下校中の事故ゼロを実践する。また、来年も引き続き「無事故・無違反・無苦情」を目指す。精神面や発達課題のある生徒への支援を学校として組織的に行い、外部人材を活用した支援を具現化する。

(4) 進路指導

昨年度、今年度の進路実績では、個々の能力や特性を生かした進路指導により、進路実績が向上した。は国公立大学への合格者は令和2・3・4年度と3年連続3名、そしてGMARCHレベル以上の大学、成蹊、武蔵などの準難関への合格、日東駒専の合格者数者は増加し、安定した進路指導が行われている。自学自習ガイダンスの改善、自宅学習時間の調査、スタディサプリ等の学習支援コンテンツ、英語検定の受験、業者模試などの有効活用、3年生の選択科目における演習、校内予備校、大学生チューターなど様々な教育活動と環境を整え、分析結果を校内で共有し、進学実績向上を図る。

(5) 特別活動

運動部では、硬式テニス部やサッカー部、卓球部が顕著な成績を残した。また、軽音楽部の全国大会連続出場、美術・工芸部の全国大会出場など、文化部も実力を伸ばしてきている。今後は、全都の中学生から注目される部活動や学校行事にしていきたい。

6 「学校が良くなった」と考える協議委員の割合

(1) 協議委員数 9名

(2) 学校がよくなったと答えた協議委員の人数

そう思う	多少 そう思う	どちらとも いえない	あまりそう 思わない	そう 思わない	分からない	無回答
5	1	1	0	0	2	0

7 職員会議及び企画調整会議への協議委員の参加実績及び成果

実績 職員会議 0回 企画調整会議 0回

8 その他

(1) 学校がよくなったと回答した協議委員が半数。

(2) 学校説明会やホームページをさらに充実させ、生徒募集の改善を図る。